

# 令和5年美濃加茂市教育委員会 10月定例会 会議録

## 1 開会日時及び場所

令和5年10月25日（水）午後3時00分から午後5時00分まで  
美濃加茂市生涯学習センター2階 203会議室

## 2 出席者

（教育委員）

教育長 古川 一男  
委員 高野 光泰  
委員 鹿野 久美子  
委員 渡邊 博栄  
委員 武田 由美  
委員 安藤 摩里

（事務局）

事務局長 田口 真吾  
学校教育課長 竹腰 宣行  
教育センター次長 佐伯 好洋  
教育センター係長 土田 雅世

## 3 欠席者

なし

## 4 開会 午後3時00分

## 5 議事日程等

（1）教育長あいさつ

（2）会議録署名委員の指名

（3）会議録の承認について

① 9月定例会会議録

（4）協議・報告事項

- ① 教育委員会行事予定等
- ② 教育センター事業報告
- ③ 全国学力学習状況調査について

（5）議事

○ 議第1号 令和4年度美濃加茂市教育委員会事務の点検・評価について

（6）その他

# 会 議 録

## (1) 教育長あいさつ

古川教育長

※教育長から開会のあいさつ

・コロナはここへ来て市内大人も含めてですけど、すごく落ち着いてきてるなっていう事を現状なんですけど。ここへ来てインフルエンザの流行が非常に激しくなっております。今朝もテレビで報道されてましたけど、通常で行けばこれからインフルエンザのワクチンを接種していくっていう時期に入るけれども、もうその前に感染があっかなかワクチンも接種できないっていうような話もしていました。そんな中で学級閉鎖が市内もいくつかあります。9月には今期初めてなのが蜂屋小学校の5年生。10月に入りまして、4校で4件ですね、学級閉鎖の対応をしているところです。一つは蜂屋小学校の2年生。加茂野小学校の2年生と4年生。西中学校の2年生ということで、何か数字だけ見ますと2年生が象徴。なんか2っていう数字がキーワードに出てくるんですけど。そんなような形で今も4件現在進行形も今3学級あるというような状況で、これからはちょっと気をつけていかないといけないなということ。それと同時に教師も感染がいくつかあるということで。学校も教師が休んでいる間なかなか逼迫しているような状況が続いているっていうような状況です。1学期の間、コロナが落ち着いてきた中で子供たちのマスクものの着用もずいぶん取れてきて、暑い中特に猛暑に入っていく中でマスクを外していくようになっていう話をしていましたが、ここへ来てまたちょっとマスクの着用の姿が広がってきているような現状が学校でもあります。

・この10月に入りまして運動会・体育祭の件ですけども、今運動会・体育祭の真ただ中ってということですけども。10月に入りまして八つの小学校で、実施そして明日双葉中学校の体育祭があるという事で控えております。こうした中で色々まだ縮小しているところはあるんですけども、全校で実施をする学校もずいぶん増えました。休憩を取りながら開会式や閉会式のあり方というものもずいぶん見直しを図りながら、子ども達の様子も踏まえた上で各学校ですごい工夫をしながら進めているところです。私もできるところは見に行くようになっていうことで様子を見に行きましたが。どの学校も色々特色はあるんですけど、共通して見えてきた・感じた事は、ひたむきさ。子どものひたむきな姿、子どもの躍動する姿っていうところ、そこら辺が非常にどの小学校も中学校も合わせて感じたところで。子どもは本当によく力合わせてやっていたなという事。それから高学年の姿が憧れになっているところが多いなっていうこと。今まで全校でやることができなかったんですけど、全校でやる中で5年生6年生の子達が中心になって動いている姿を下学年の子達も見ながら。中学校でいくと3年生の頑張る姿を、2年生、1年生の子達が見ながら来年はあんなふうに俺たちもやりたい、私達もやりたいっていうようなそんな気合いが伝わった

ような時間だったなっていうことを思いながら見ていました。改めて、そうやって異学年が一つになって、一つの目標で違う学年の子達も一緒に力を合わせながら取り組んでいく。この教育活動の教育的な意味っていうのは改めて大きいなという事を感じたところです。

・秋に入りましたけど秋にはいろんな冠があるんですけど、実りの秋っていうのも一つあるんですけど、一つフラワーブラボーコンクールっていうのが、毎年全国に繋がっている規模であります。これに市内の学校もいくつか例年応募していますけれども、今年加茂野小学校が県の代表で推薦をされた上で農林水産大臣賞っていうのを取りました。去年ちょうどこの時期に教育委員訪問で花壇を皆さんと一緒に見させていただいたんですけど。まだ綺麗だっていうので、また機会があったら教育委員の皆さんも加茂野小学校花壇見て頂ければなと思っております。これもなかなか最上位賞に近いようなところだったと。西中学校も中部善意銀行賞っていう特別賞を受賞しています。加茂小学校は児童会や高学年の子達が中心になってやっている取り組みであり、西中学校は特別支援学級の子達が中心になって取り組んでいるっていうふうですけど。西中学校については毎年伝統になってきてるんですけど、加茂農林高校の生徒が中庭に入らずいぶん整備をしてもらっていますけれども。そういうところも大きく実になってきたなというふうに思ってます。これも非常に嬉しいなということです。

・長年小学校教育に尽力してきた人っていうことで国のレベルで表彰をするっていうことが、これ大体25年に1回ずつぐらいの割合であるようなんですけど。これが加茂野小学校の山田庄司さん。もうご退職をされて今講師っていう立場で入っていらっしゃるんですけども。御年もう68になられるんですけども。この方を推薦をさせていただいたところ、国のレベルで認めていただけたということで、先日全国表彰、東京で受けてこられました。小学校教育を中心にこの方も暖かく支えていただいたなということです。

・学校給食の関係ですけども、全国学校給食甲子園という大会が毎年あります。美濃加茂市の栄養教諭の中島栄養教諭がこれに出しましたら、4次審査まであって、最終的に全国大会では5次審査があるんですけど、それをくぐり抜けて選ばれて東京へ今度12月にいきます。ご紹介をさせていただきます。「ポイントはメニューを、献立を工夫する」っていうことで地産地消っていうところもキーワードの中で。これも加茂農林高校とのコラボっていう形で。加茂農林が梅ジャムっていうのを作ってるんですけど、それを学校給食に使ってやろうというアイデアの中で、梅ジャムを使った鶏肉の梅ジャムソース和えとかっていうメニューがあるそうです。今年の正確な数字がようわからんですけど、去年でいきますと1,300ぐらいの応募があった中で、4次審査でずいぶん絞られてきて最終的に全国大会で行ったのが14。東京でということですけど。今年もその1,300以上はあったというふうには聞いておるんですけど。最終的に東京に行くのが12。その12のうちの一つに選ばれたっていうことでこれも非常に嬉しいこと

だなど。常に学校給食の方も献立も創意工夫をしながら進めながら、こうしたことにも果敢に挑戦していく職員がいるってことは本当に誇りだなってことを思っています。また良い結果を教育委員の皆さん方にお伝えできればなということを思っております。

## (2) 会議録署名委員の指名

古川教育長

会議録署名委員の指名を行います。美濃加茂市教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和5年10月定例会会議録の署名者は渡邊委員をお願いいたします。

渡邊委員

はい。

## (3) 会議録の承認について

### ① 9月定例会会議録

古川教育長

次に、会議録の承認についてです。9月定例会会議録を事前にお送りしておりますが、訂正等はよろしいでしょうか。

(委員：意見等なし)

特にないようですのでご承認いただいたという事でお願いたします。

## (4) 協議・報告事項

### ① 教育委員会行事予定等について

古川教育長

本日は準備に時間のかかる議題がありますので、先に協議・報告事項に入ります。まず「教育委員会行事予定等について」をお願いします。

竹腰学校教育課長

※資料を基に、教育委員会行事予定等について説明。

・10月ですが、各小中学校において運動会を行っているということで、10月5日前半がどっちかっていうと暑さ指数を気にする大会ではあったなというふうに思うんですが、この間行われました蜂屋小学校では低学年の子がちょっと寒そうに上着を着ながらブルブル震えながらってようなそんな運動会でありました。天気には大変恵まれて、どこも予定どおり行っているという状況です。

・10月19日ですが東中におきまして、道徳のパワーアップ講習会を行いました。こちらにつきましては地区の学校からは各校1名、最低1名。そして県内の各学校から応募者ということで授業も行いまし

たが、研究会では教室がいっぱいになるほど参加者をいただきまして、道徳の授業の進め方について協議をしていただいております。

・10月31日ですが、市のF-Oの公表会を実施いたします。各学校に分担をさせていただいておりますので、どうぞよろしく願いいたします。時間になります前にお越しいただきまして、職員室へお入りいただければというふうに思います。

・11月3日、県のPTA研究大会が美濃で行われるということでご承知おきください。

・10日です。市町村の教育委員連合会の研究総会がございます。

・22日水曜日ですが、教育委員研修がウェブでという事で案内を行っております。

・25日の土曜日ですが、青少年育成市民会議が主催をします子供をたくましく育てる集いが開催されます。

古川教育長

質問等ありましたらお願いします。

11月10日の市町村教育委員会の連合会の研修総会の方の詳しい資料についてはお手元に届いておりますでしょうか。可児のアーラで行われる。そのことについてはまた後日、詳しくお知らせをする段取りでありますので、よろしくをお願いします。

(委員：意見等なし)

では次へいきます。

## ② 教育センター事業報告について

古川教育長

では次に「教育センター事業報告」をお願いします。

佐伯センター次長

※資料を基に、教育センター事業報告について説明。

<研修・研究事業>

・研修につきましては、10月13日の教育相談主任相談員研修。それから23日の山手小での救護研修。そして昨日でしたが、ヤング研修と。この三つを実施しております。11月以降につきましては、11月21日と28日2日間に分けて、初任研としまして、保育園での1日実習を予定しております。それから12月に入りまして教頭研修・管理職研修と、それから教育相談員の研修3回を予定しております。

・研究につきましては、11月28日に英語教育推進委員会の3回目ということで、太田小学校での授業研を中心にした研究会を予定しております。なお、英語教育推進委員会につきましては、小学校での英語の教科化が進み、色々と英語の活動事業のあり方も変わってきておりますので、今後の英語教育推進委員会の持ち方についても検討されるということは聞いております。

・教育研究会につきましては今月12日と17日に小学校部会・中学校部の2回を行って、これで今年度の小中各部会は終了ということに

なっております。事例の部会も4年ぶりに年2回の授業研究会を中心とした研究会を持つことが出来ました。

・児童生徒・市民への支援ですが、12月の最初の3日間になりますが、文化の森において子ども展を開催いたします。図工・美術や書写技術家庭科の作品等の展示会ということになります。またこの期間を利用しまして12月2日に科学の広場も文化の森のエントランスホールの方で開催する予定にしております。

#### <不登校対策関連事業>

・8月9月の長期欠席児童生徒の状況です。原因別集計につきましては、特に不登校のところが昨年度比でいきますと、小学校では若干の増、中学校では若干の減というような状況になっております。

・不登校の児童の状況でいきますと、全欠の児童生徒数につきましては、小中ともに前年度比でいきますと若干の減少という状況でございます。小では13名が7名、中学校では34名が30名。ただ今年度の動きで見ると、新規児童数は小で11名、中学校で13名ということで、若干増えているのが気になるところです。これにつきましては、夏休み明けで夏休み中に生活のリズムを崩してしまったりとか、2学期のスタートの切り替えがうまくできなかつたり。運動会や体育祭という運動的行事がありまして、なかなかそういった集団活動に苦手さを持つお子さんがちょっと学校に足が向かなくなるそういう時期でもございます。

・不登校の様態別集計につきましては、特に無気力不安が105ということで、やはりなかなか不登校の状況に入った理由・原因がはっきりしないということになります。従ってその対応も難しさがあるということになるかと思えます。

・2学期に入ってちょっと新規が増加してきた背景には、夏休み中での生活の乱れや、行事に対する不安等が不登校に繋がっている。また一部の学校ですけれども、外国籍児童の欠席も目立ってきている学校もあります。その中にはやはり学習理解が十分できないことでの不安が不登校に繋がっているといったことも考えられます。また中学校においては、居場所作りについては今小中ともに努力していただいているところですが、教室以外への登校ができるようになった生徒が、27名ということで前月比プラス12という状況でございます。これはやっぱり各学校が子ども達や保護者に働きかけをし、受け入れ態勢を整えたということでこういった成果に繋がっているかなというふうに思います。

・あじさい教室については現在通所者数は14名と。小学生が4名、中学生が10名という内訳になります。

・教育相談の状況につきまして、8月、9月は若干の落ち着きも見られておりますが、件数としては12名ということで、夏休み中に相談の機会を設けましたので、そういう点では数はちょっと増えたかなというふうに感じております。また2学期に入って不登校状況を示してい

る児童生徒が増加したということで、その点での相談の増加があったというふうに捉えております。

・あじさい教室ですが、夏休み中には2回のオープンデーを受けまして、延べ18人が参加をしました。普段はまだなかなかちょっとあじさい教室まで来るとも難しい子も参加ができたとか、いい部分もございました。また9月については15人の児童生徒が通室をしまして。本当に通室してる子達は通室状況も安定しておりますし、表情もとても落ち着いています。あじさい教室があの子達にとっては安心できる居場所になっているかなというふうに捉えております。

<発達相談・特別支援関連事業>

・あじさいの発達相談につきましては、2学期に入って若干数は減ってきております。9月で2件、10月ちょうど今就学の判定の時期にありまして4件と若干増えておりますが、全体的に数は1学期より減っております。電話相談についても9月10月は少ない傾向にございます。その分保育園の方の新就学児についての発達相談がいろいろカナリアの家等に入ってくるので、担当の長谷はそちらの方での巡回相談の方に頻繁に出向いているような状況です。

・特別支援教育関係の判定状況でございますけれども、9月10日現在で幼保こども園の来年度の1年生を対象にした判定合計が88名。それから現在の1年生から中2中3までの判定の合計が548ございました。この中で新規の判定が出ているお子さんが148名ほどあります。これまだ9月10日現在のものとして、今月それから年明けにも追加判定がありますので、最終確定ではございません。若干増える可能性がございます。

古川教育長

ありがとうございました。教育センターから事業報告をしてもらいました。この報告について何か質問等ございませんか。

教員の研修の方も少しずつ対面でっていうか、授業を実際に見ながら実践的な研修が少しずつ戻ってきたっていう、そういうことでよろしいでしょうか。

佐伯センター次長

そうですね。コロナの期間は、授業はやるにしても録画してそれを見てとか、または別室から見るなんていう方法をとってございましたが。ほぼほぼ参加者は教室内での授業の様子を見て、また一度に集まったの研究会を持つと、そういった形で実施ができました。

古川教育長

ありがとうございました。

その他質問等ありましたらお願いします。

(委員：意見等なし)

では次へいきます。

### ③ 全国学力学習状況調査について

古川教育長	では次に「全国学力学習状況調査について」報告をお願いします。
土田係長	※全国学力学習状況調査報告書を基に説明。
佐伯センター次長	※児童生徒質問紙調査の集計及び傾向と提言を基に説明。
各委員	※各委員からの質疑
古川教育長	その他質問等ありましたらお願いします。 (委員：意見等なし) 以上で協議報告事項を終わります。

## (5) 議事

### 議第1号 令和4年度美濃加茂市教育委員会事務の点検・評価について

古川教育長	では次に「議第1号 令和4年度美濃加茂市教育委員会事務の点検・評価について」をお願いします。
田口事務局長	<p>※資料を基に、各事業の評価を決めていく。(委員5人のそれぞれの評価を確認し、4人以上同じ評価であればその評価とし、それ以外の場合は協議して評価を決定する。)</p> <p>&lt;教育総務課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会運営事業：B <ul style="list-style-type: none"> <li>※武田委員：相当会議を重ねてらっしゃるってところで。その結果がどうこうということではなくて、それを実施したってところできちんと話をされているところでAにしました。</li> </ul> </li> <li>・学校規模適正化事業：C</li> <li>・学校施設の適正な維持管理事業：B <ul style="list-style-type: none"> <li>※安藤委員：予算がないのでなかなか改修ができないという声を参加の時に聞かせていただいたのでCにしました。</li> </ul> </li> <li>・学校施設整備計画の推進：A</li> <li>・児童・生徒就学援助・奨励事業：B <ul style="list-style-type: none"> <li>※安藤委員：私からしてみると非常に手厚く感じたのでAにしたんですけども。でもまだ足りないのであればBで。</li> </ul> </li> <li>・給食センター（異物混入の防止）：B</li> <li>・給食センター（給食費徴収）：C <ul style="list-style-type: none"> <li>※渡邊委員：現年度分の収納率の99.8%をクリアしてることと、コロナ禍の影響っていうことを、付与してBでいいんじゃないかなとも思ったんですが。今改め</li> </ul> </li> </ul>

てよくよくもう一度読んでるところで、過年度徴収率が昨年より下がったっていうところもあるのでCという評価で。

- ・給食センター（食育事業）：A

古川教育長

今この評価も最終評価ということで出しましたけど。所々でご意見をいただいたところっていうのは貴重な意見ですので。

・例えば一つ目の教育委員会の運営事業のところだけれども。これも総合教育会議をきちっと年間の中に位置づけて実施しているっていうところ。それのご意見もいただいたので、そこら辺のところは見通しを持ってしっかりと今後も続けていく必要があることが大事だなんてことを改めて確認をしないといけないということ。

・それから三つ目の施設設備のこともご意見もいただきながらまだまだ十分ではない。やり切れていないところもあるんじゃないかっていうところ。これは確かに予算の中で限られた予算の中ではもう十分できるところでやっているっていうような実態はあるけれども、まだまだ手が届かないところがありやしないかというところ。そういうご意見をいただいて、そこは確かにそうだなと。そういう視点を持ってまた来年度予算取りとか何かというところにも繋げていく必要があるなというこういう貴重なご意見をいただいたなんてことを思っています。

・5番目のところも準要保護・要保護のことも、なかなか美濃加茂市は手厚くやっているなっていうこともご意見をいただいたところですけども。そうしたところの感覚も大事にしながら少しでも見落としがないように。また逆に該当しないようなところが出てきたところはしっかりと見極めをしていくっていうところを大事にしていきたいということ。

・七つ目の給食センターのところもご意見をいただいてありがたいなと思ったんですけど。よく収納率も100%にはならないけれども、よくやってる。こういう状況の中でっていうご意見もいただきながらも収納率としては若干下がってきているのでなかなか苦しいところはあるけれども、この辺のところ来年度に向けても。この給食の徴収についてもあり方をちょっと変えていくところもあるけども。そういうご意見、しっかりと肝に銘じて進めていきたいなと思いました。

#### <学校教育課>

- ・特別支援学級推進事業：A
- ・就学時健康診断実施事業：B

※安藤委員：課題のところの「在住状況が確認できない外国人幼児が絶えないため」って本当そうだと思うんですけど。それってどうする。なかなかどうしようもないんじゃないかなと。市として。なのでもちろんそれを把握するには努めるんでしょうけど、十分できているのではないかなと私は感じたのでAにしました。

- ・教育センター運営事業：B
- ・中学校教育振興事業：B
- ・事務局運営事業（学校教育）：B
- ・いじめ対策事業（ハイパーQ U・児童会生徒会新聞作成・美濃加茂市いじめ防止対策審議会）：B
- ・いじめ対策事業（スクールロイヤー設置事業）：A
- ・教育センター研修事業：B
- ・教職員研修事業：D
  - ※安藤委員：コロナ禍っていうのがちょっと出ていたのでBとしました。
- ・活躍する生徒支援事業：D
- ・地域・家庭教育推進事業：B
- ・学校運営協議会事業：B
  - ※渡邊委員：個人的には令和4年度Aでもいいんじゃないかと思いますが、今後の課題もしっかり方針と合わせて挙げてらっしゃってBという事なので皆さまと合わせてB評価という事をお願いします。
- ・ふれあい安全サポーター設置事業：B
- ・発達支援事業：A
- ・教育支援事業：A
- ・小規模特認校推進制度：A
  - ※鹿野委員：今後の方針のところで、「ICTを活用した学習支援や人員を配置しない小学校にも」ってあるけど、内容がちょっと分からなかった。
- ・科学のふしぎ解決学習事業：B
  - ※渡邊委員：このコロナ禍の中で出来たことがたくさんあったということでA評価としました。謙虚にBということであればBでもいいんですが。個人的には十分Aじゃないかなというふうに思っております。
  - ※安藤委員：十分Aじゃないかなと思いますけど。必要な費用を増やしているっていう課題のところで考えたらBなのかなと。
- ・フロム0歳プラン推進事業：A
- ・学外講師派遣推進事業：A
- ・英語教育推進事業：B
  - ※武田委員：達成状況から見たら4名のMET（外国人による英語指導講師）を配置していただいて。かなりコミュニケーション能力を高めるっていうことで、ちょっと英語に親しませることができたというその成果だけを見た状態でいけば私はAかなと思ってAにしました。
  - ※安藤委員：今年度はICT活用をすごくされたので。ですけど、4年度はまだそんなにされてなかったって事であればBでいいのかなと思います。

・教育相談・適応支援教室：B

※鹿野委員：私は本当にあじさい教室、よくやってらっしゃるなと思って。伺う度に本当に感動するぐらい。これはAじゃないかと。

※安藤委員：同じくです。

・情報教育推進事業：B

・のぞみ教室推進事業（定住）：B

※鹿野委員：私としては本当によくやってくさってるんだけど、まだまだ課題が多いなって。すごい課題の多さに対して難しいなという感じでCにしましたが、それでもよくやってくさってるので、もちろんBでも構いません。

古川教育長

ありがとうございました。これで色々評価していただきましたけども。ポイントポイントでご意見をいただきまして貴重なご意見だなということも思っています。ありがとうございます。これも、昨年度の事業を評価していくというところの難しさもあるなと思うんですけど。

・二つ目の就学児健診。もう今もちょうど今年度は終わったところのような状況なんですけども。これも外国人の子の人達の移動とかっていうところ難しさっていうのも改めてご指摘をいただいたんですけど。これも一度に解消する案件ではないんですけど。これも他の関連課とも連携をとりながら少しでもこういう連絡調整ができるような体制をとっていく必要があるなということ実際もご示唆いただいたなという事をおもっております。

・6番のスクールロイヤーの部分もご指摘をいただいて。本当にこれが有効に活用できているかどうかっていうところ。そういう視点でも使っているという事実だけではなくて、どこでどういう活用できているかっていうところ。そういう視点もでもこの事業を見つめ直していく必要があるなという事を思いました。

・16番の科学のふしぎ解決学習事業についてもありがたいお言葉をいただいたなと思うんですけど。コロナ禍の中でもよくやってる、制限のある中でもよく工夫をしながら実施できるところは、どういうふうに実施できるかっていうところを模索しながらやっていたのではないかとご意見やご指摘をいただいたんですけど。そうしたところも評価をいただいたことはありがたいなってことを思っています。そうしたところで、これから何が起こるかわからないけど、そうした中でできる最上の方法を考えていくっていうところ、そうしたところを今後大事にしてほしいなということをおもいました。

・19番の英語教育の推進事業ですけど。これも先ほどのスクールロイヤーと同じような形で、METとかEASとかっていう配置をしているのはわかるけれども、そのあたりが本当に有効に活用しきれているかどうかっていうところ。その辺のご指摘もいただいたというふうに思っています。そのあたりについても学校教育課の方でもしっかり見つけていっていく必要があるなということをおもっています。

・ 22番ののぞみ教室のところ。外国人の対応についても課題が多いというご指摘もいただいたところで。確かにいろいろ多様化しているとか多言語化しているという。これののぞみ教室もそうですけど、武田さんが一生懸命やっていたらいる国際交流協会の方も色々日本語指導とか、きめ細かく指導していただけたんですけど。そうした課題を踏まえながら、またさらに指導充実を図っていく必要があるなという事。そういう事をご指摘いただいたなと思ってます。

今後につなげていくように両課の方でもしっかり協議してご意見をいただいたところ中心に今一度かみしめて進めていって欲しいなって事を思います。ありがとうございます。

※協議中に出た議論

鹿野委員

< 中学校教育振興事業 >

今後の方針のところで、高額なものは例えばどういうものを高額と。学校単体ではなかなか購入できないため、学校と相談しながら。どういふのを想定しているのかなと思って。

竹腰学校教育課長

例えば部活動の吹奏楽部。高額な楽器。それも計画的には買ったりとかしてるんですけど。そういったものの必要性であったりとかそういったところも学校とも相談しながら。

鹿野委員

< 事務局運営事業（学校教育課） >

課題のところでは緊急的な対応の消耗品。例えばどういうものを。

竹腰学校教育課長

例えば熱中症対策であったりとか登下校の対策であったりとかっていうところで、必要っていうところに事務費からちょっと出すっていう対応があったので、そこはちょっと想定しておく必要があるなと。

鹿野委員

< いじめ対策事業（児童会生徒会新聞作成） >

今後の方針のところで、児童会生徒会新聞の作成ってあるんですけども、これは子ども達で作るということ。色々指導とか。

竹腰学校教育課長

子どもが作ります。今までは生徒会が集まって、一度に集まってというようなことやってた。コロナでちょっとできなくなったので新聞に変えながら、自分達の学校の良さを発信したりとか、対応について発信していくっていう。これが割と教育効果も高いっていうような事で、これも継続していきたいっていう事と、集まることに関わってちょっと色々学校の負担感も大きかったんで、そういったところも含めると一堂に会するよりは新聞を継続していくことで続けていきたいと思いますという、そういった方針です。

佐伯センター次長

作成した新聞は、12月の最初の子ども展の際に文化の森で掲示をしまして、広く市民の方にも見ていただいています。その後3学期の間で学校巡回展示をしまして、他の学校の活動の様子を子ども達が見れるようなそういう形をとることで、発信交流はされています。

田口事務局長

この評価結果につきましては議会への報告、それからホームページの掲載の方を予定しておりますのでご承知おきをいただきたいと思います。

古川教育長

はい、ありがとうございます。それでは議第1号の点検評価についてですけれども、これで確定ということでしょうか。

局長の話がありましたが、これをもってまた公表していくという事で進めていっていただくようお願いをします。

## (6) その他

古川教育長

その他はありますか。

(事務局：特になし)

では最後に次回の日程を確認したいと思います。

田口事務局長

※11月定例会の日程調整について説明

(委員日程調整)

11月定例会は、11月24日(金)9時00分から、会場は文化の森研究室になります。

その後10時半からF-0の中間報告会を順次実施していくというような内容をお願いをしたいと思います。なお昼食につきましては、給食センターの方に移動していただいて昼食を食べていただくような予定を組みたいと思います。

古川教育長

その他よろしいですか。

この日は時間が長くなりますが、よろしく願いいたします。

それでは以上で令和5年10月定例会を閉会いたします。皆さんありがとうございました。

閉会 午後5時00分